

12/9 (木) 人権週間街頭啓発活動

熊本地方法務局山鹿支局（杉本孝敏支局長）と山鹿人権擁護委員協議会（岩崎義郎会長）の委員14人が、菊池市内のスーパーマーケットで買い物客に人権啓発のグッズを配りました。

12月4日（土）から12月10日（金）までの人権週間に併せた取り組みで、委員たちは「身の回りにある人権を大切に、困ったことがあったら何でも人権擁護委員に相談してください」と呼びかけていました。



グッズを配る人権擁護委員の皆さん

11/29 (月) 菊池一膳会が植樹活動

菊池市の若手料理人で作る菊池一膳会（堀田陽平会長）から、桜の木（ソメイヨシノ）6本の寄付がありました。寄付された桜の木は、菊池一膳会の会員たちが、菊池公園へ植樹しました。菊池一膳会では、桜の名所である菊池公園を子どもたちに残したいとの思いから、今回の活動を企画されたとのこと。今後とも訪れる人が気持ちよく利用されるよう、公園整備に努めます。ご寄付ありがとうございました。



植樹活動をする菊池一膳会の会員たち

11/26 (金) 子どもたちへの教育活動に役立ててと寄付

スポーツダンスきくち（竹下美恵子代表）から、子どもたちの教育活動に役立ててほしいと菊池市教育委員会へ約7万円の寄付がありました。これは同団体が昨年11月に開いたチャリティーダンスパーティで集めた参加費などから収益金を寄付したものです。ダンスパーティには190人が参加し、社交ダンスやダンス愛好者同士のふれあいを楽しみました。今後、市内の小中学校において有効に活用させていただきます。ご寄付、ありがとうございました。



寄付金を手渡すスポーツダンスきくち代表竹下さん（左）

11/13 (土) 第42回九州地区子ども会育成連絡協議会表彰

九州地区子ども会育成連絡協議会が大分市のコンパルホールで開催され、熊本県より菊池市子ども会育成協議会の稲田壽昭さんが表彰されました。稲田さんは去年の熊本県子ども会連合会総会でも表彰されており、2年連続での受賞となります。日ごろより子ども会活動にご尽力いただき、泗水町だけでなく菊池市全体の子供たちが健全に育つようご指導されています。



表彰された稲田さん

12/3 (金) 平成22年度火薬類保安経済産業大臣表彰

早川征也さんが、火薬類の保安に関する業務に永年携わり、火薬類の保安管理や教育に功績のある人へ贈られる火薬類保安経済産業大臣表彰で、保安功労者を受賞しました。早川さんは熊本県火災保安協会火薬類巡回指導員を務めて30年になり、現在は委員長としても活躍。火薬類の事故などが起きないように関係団体へ指導を行っています。早川さんは「受賞できたのは仲間のおかげ。これからも事故のないよう指導していきたい」と笑顔を見せました。



大臣表彰を受賞した早川さん

12/4 (土) 九州大学で館外研修

日本統合医療学会九州支部大会・ヨーガ部会設立記念発表会に、ヨーガボランティア養成講座に参加する17人が館外研修として参加しました。九州大学医学部で開催された同発表会では、ヨーガボランティア養成講座の講師である富岡楓實代さんが「健康の里づくりとヨーガ療法」と題して、パソコンを使い温泉や菊池深谷など菊池市のPRを交えながらヨーガ療法の指導などを報告しました。



富岡楓實代さん

12/1 (水) くまもと夢トークin菊池が開催されました

蒲島知事と地域住民が意見交換を行うくまもと夢トークin菊池が、泗水総合支所と夢美術館の2カ所で開催されました。夢美術館には、菊池市商工会青年部や菊池温泉旅館女将湯恵の会などから代表者が集まりました。参加者からは「合併した4地域をまとめて大きな祭りができないか。新幹線戦略があると思うが、観光に対する予算が新幹線開通後、数年で減っていかないようにしてほしい」などの要望が出され、活発な意見が交わされました。



蒲島知事（左中央）と意見を交わす参加者たち

11/30 (火) 「やねだん」に本気で学ぶ

やねだん創世塾研修報告会・村おこし決起大会が太田区で開催され、区民など約50人が参加しました。同会では、やねだんへの視察研修などの報告が行われました。また地区の活動や取り組みの経過と報告、今後の展開について村起こしの発起人である迫栄一さんが「子どもたちが太田に生まれて本当によかったと誇れるような地域にしよう」と思いを語りました。当日は、やねだんアーティスト6人も参加し、自らの活動などを話しました。



アーティストの皆さん